

平成 27 年 8 月 5 日

各位

富山県信用組合

飛騨信用組合との業務提携について

富山県信用組合（理事長 柳野隆之）と飛騨信用組合（理事長 大原誠）は、平成 27 年 8 月 5 日付けで業務提携することとなりましたことをお知らせ致します。

今年 3 月に北陸新幹線が開業し、首都圏との移動時間が大幅に短縮されたことにより、北陸圏マーケットの活況が大いに期待され、益々活発になることが予想されます。

そこで、富山県地域と飛騨地域における経済・観光に資する地域資源の有効活用を促進する架け橋となるべく同信組との業務提携を行うものです。当該業務提携によって、共通業務の一元化による業務効率の向上や、人事交流、金融商品の共同開発によるシナジー効果を見込み、お客様にこれまで以上に付加価値の高いサービスを提供していくことを目指します。また、組合員にとっての新たなビジネスチャンスの創出や相互交流の活性化が見込まれることから、富山県地域の経済発展にも寄与するものと考えております。

《業務推進分野》

1. 業務運営方法の改善

組合員の負託に応えるため、金融業務における預貸金増強策、収益向上策、リスク管理手法等の情報交換を行います。

なお、上記のほか、ひだしんさるぼぼ倶楽部（倶楽部会員が登録店を利用する場合に様々な特典が受けられる会員制度）と同様の倶楽部（仮称「けんしん立山倶楽部」）を設立し、両倶楽部の連携を図るとともに、飛騨信用組合及び富山県信用組合の倶楽部会員が、様々な特典をご利用頂き、両信用組合のファンの増大及び取引先の拡大を図ることを目指します。

2. 職員の能力向上に向けた方策

取引先企業が取り組む事業の拡大、事業継承及び事業再生等の支援やソーシャルビジネス等の新分野への進出を支援していくため、現場を担当する職員のコンサルティング業務の向上に向け、各種合同研修会等を開催します。

3. 人事交流

職員の相互派遣により、両信用組合の業務におけるリスク管理手法、預貸金増

強の推進方法等を学び、定着させます。

4. 金融商品の開発

両信用組合の収益増強のため、顧客ニーズに応じた商品をこれまでのノウハウを生かし、共通商品等を双方協力して開発します。

5. システムの共同開発

業務効率の向上に向け、双方の金融環境に即したシステムを協力して開発します。

6. 物品の共同購入

販売促進品、共同調製帳票の共同購入を行い、経費の軽減を図ります。

《地域貢献分野》

1. 地方公共団体、商工会議所、商工会等と連携した展示会等のイベントの開催支援、観光情報の提供支援

県、各市や各地区商工会議所、商工会等と連携し、次の事項等について双方協力して、開催支援を行います。

- i) 観光PRパンフレット及びチラシ等の各店での備え置き。
- ii) イベントポスターの各店での掲示。
- iii) 地域イベント開催、施設の相互利用等の情報発信。
- iv) 各地域の特産品等で店内等での装飾によるイメージアップの協力。

2. ビジネスマッチングによる組合員の販路開拓等の支援

両信用組合の卸小売業、製造業、サービス業、不動産業等を経営する組合員に対して、定期的にビジネスマッチングを相互開催し、販路開拓等の支援を行います。

《その他》

1. 総代等の交流

両信用組合の総代による会社見学等の交流の機会を設定し、情報交換を行います。

〈お問い合わせ先〉

富山県信用組合 本部

担当：朝倉 電話番号 (0763) 33-3351